



平成 26 年 2 月 5 日

各 位

会 社 名 久光製薬株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 中富 博隆  
(コード番号:4530 東京、名古屋、福岡)  
問合せ先 広報室室長 金成 俊英  
(TEL 03-5293-1732)

**HP-3000(経皮吸収型パーキンソン病治療剤)の  
国内第 相臨床試験結果のお知らせ**

久光製薬株式会社(本社：佐賀県鳥栖市、代表取締役社長執行役員：中富博隆、以下久光製薬)は、経皮吸収型パーキンソン病治療剤(開発コード：HP-3000、一般名：ロピニロール塩酸塩、以下「本剤」)の国内第 相臨床試験の結果を得ましたので、お知らせ致します。

L-dopa (レボドパ) を併用するパーキンソン病患者を対象に、本剤の有効性および安全性について、プラセボを対照に検討しました。その結果、有効性の主要評価項目でプラセボ投与群との間に統計学的有意差をもって改善が確認されました。また、安全性に関して開発上の大きな問題となる副作用は認められませんでした。

本剤は、久光製薬の TDDS (Transdermal Drug Delivery System：経皮薬物送達システム) 技術を用いて開発した経皮吸収型製剤です。安定した血中薬物濃度を維持し効果を持続させることで、パーキンソン病治療の新たな選択肢となることを期待しております。また、昨年より中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群を対象にした第 相臨床試験を実施中です。

今後、平成 26 年度中の第 相臨床試験開始を目指してまいります。

以上